

保育所・幼稚園コンサルテーション



こんなお悩みありませんか？

「クラスに気になる子が何人かいる」「みんなが安心して過ごせるクラスを作りたい」

「"なんとなく気になる子"への関わり方に悩んでいる」「園全体で保育士のスキルアップを図りたい」

そんなお悩みに対して、「保育所・幼稚園コンサルテーション」で一緒に考えませんか。

このコンサルテーションは、単なる知識提供や一方的な指導に留まらず、保育士さん主体で考え、支援することを私たちがサポートする「伴走型」のコンサルテーションです。

対象 高知県内の保育所や幼稚園等

内容 「定期訪問支援」と「ティーチャーズ・トレーニング」をセットで行います

「定期訪問支援」

〈実施期間〉3年間

〈訪問頻度〉月1回程度

〈訪問時間〉9:30~15:00

〈スタッフ〉発達障害者支援センター職員

〈内容〉

①午前の「保育観察」

子どもの姿、保育士の関わり、環境構成などを観察します。

②午後の「ディスカッション」

発達の視点から、観察で得た子どもの姿を園の皆さんと共有し、園でできる具体的な支援を共に検討します。

③定期的な「実践の振り返り」

園の実践の結果や子どもの成長を確認し、新たな課題があれば、次のステップと一緒に考えます。また、多様な子どもが安心して過ごせるユニバーサルな環境作りについても確認します。

①~③を繰り返しながら、「保育士のスキルアップ」と「園全体の連携」をサポートします。

※子どもの発達をみる視点である**ESSENCE**の徴候を確認するためのシート「**ESSENCE-Q**」を使います。

頻度や時間は保育所等の予定に合わせて調整可能です！



↑
具体的なスケジュールの例はこちら！

「ティーチャーズ・トレーニング」

〈回数〉全6回

〈実施頻度〉3~4週間に1回

〈スタッフ〉発達障害者支援センター職員

〈各回の内容〉

- ① 行動を3つに分ける
- ② 好ましい行動を増やす
- ③ 好ましくない行動を減らす(1)
- ④ 好ましくない行動を減らす(2)
- ⑤ 効果的な指示を出す
- ⑥ 整え上手になろう・ふりかえり



子どもの「行動」の見方や、具体的な対応方法を学び、保育士のスキルアップをサポートします。

コンサルテーションを受けた支援者の声

【保育士の声】

- ・今子どもが何を楽しんでいるのか、どこを苦手だと感じているかを細かく見ようと改めて感じた。
- ・子どもに適した関わり方や環境の工夫について手がかりになった。
- ・子どもの成長や気づきを職員間でより話すようになった。
- ・気になる所ではなく、子どもの頑張っている所や成長を認め、たくさん褒めるようになった。

【市の幼保担当者の声】

- ・回を重ねるごとに、保育者の表情が明るくなり、前向きに子どもに向き合う姿勢がみられるようになった。そんな姿をみて、嬉しくなった。
- ・受けている園だけでなく、私たち自身の学びにも繋がった。

これまでの実績

(R3~R7)

南国市 5園

香南市 4園

東洋町 2園

合計 11園

ESSENCEとは…

クリストファー・ギルバーク教授が提唱した「神経発達症のある(あるいは疑いのある)子どもたちの5歳くらいまでの発達早期の状態」を表す名称。ESSENCEの視点で子どもの発達をみることで、子どもの発達を包括的に捉え、早期の問題への気づきと早期からの支援に繋ぐことが出来る。



コンサルテーションご利用の流れ

① コンサルテーションの説明会を受ける

② 訪問日程を調整する

③ 依頼文書を提出する

⇒ くわしくは… <https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2026022600170/>

詳細はこちら



コンサルについてのページもご覧ください！



お問い合わせ

高知県立療育福祉センター発達障害者支援センター きらっと
☎088-844-1247 ✉hattatsu@ken.pref.kochi.lg.jp
〒780-8081 高知市若草町10-5

まずはお気軽にご連絡ください

